

2007年
2月15日
No.14

さざなみ

〒520-0043
大津市中央1丁目5-25
小堀マンション2030号室
さざなみネット
(全国金融一般労働組合滋賀支部)
TEL・FAX 077-522-7868

金融労連近畿地協結成を決定 組織拡大・強化めざしスタートを誓い合う

さざなみネットは、1月および2月の執行委員会において、全国金融労働組合連合会近畿地方協議会（金融労連近畿地協）の結成（組織合同）について、討議し、全員賛成で決定しました。

近畿地方における旧地銀連・銀行労連・全信労の代表者は、昨年8月に結成準備会を設置、近畿地協結成に向けて準備を進め、1月に「金融労連近畿地方協議会の発足（組織合同）について」「規約（案）」等を発表して

いました。

近畿地協結成によって、7組合650人あまりが組織合同することになります。いろいろ条件はありますが、共同して金融労働者の生活と権利を守り、本来の国民と地域に役立つ金融機関を取り戻すため、合同を力にして組織拡大・強化をめざしてスタートさせようとして誓い合いました。



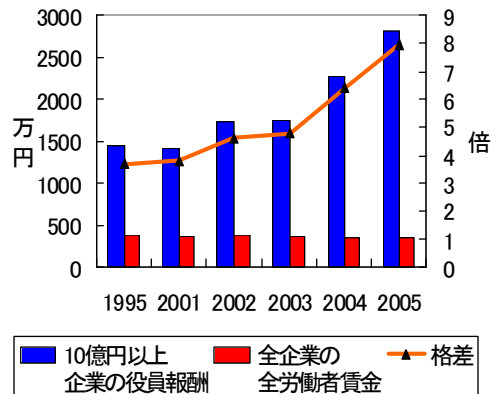
異常な資本と労働の所得の格差 労働組合がたたかひの先頭に

賃下げと長時間労働、雇用破壊、増税と社会保障改悪によって、貧困と格差がかってなく広がっています。今年の春闘では労働組合がその組織力を発揮して、国民的なたたかひの先頭に立つことが期待されています。

いま日本で格差が目立ってきた最大の原因は、資本と労働の所得の格差が異常に不公平になっていることです。例えば資本金10億円以上の大企業の役員報酬は、この10年間に1433万円から2811万円へと2倍に増えています。ところが同じ期間に、全労働者の平均賃金は388万円から352万円へと、逆に大幅に減っています。その結果、大企業の役員報酬と労働者の格差は同じ期間に2.8倍から8倍にもなっています。（右図）こうした大資本と労働の格差拡大の底辺で広がるワーキ

ングプアや深刻な貧困という異常な事態を正すことは、憲法25条に保障された生存権を守る国民的な大義のある課題です。

資本金10億円以上の企業の役員報酬と
全法人企業の労働者賃金



銀行に行きましたが、「いらっしやいませ」のあいさつもありませんでした。私にとっては大金が振り込みになったので、相談しなかったのですが、通帳の記帳を頼んだら迷惑そうな顔だけ。後ろのえらいさん、行員さんは下を向いて黙々と仕事をしておられるだけ。職場の元気が見当たりませんでした。

下を向いて黙々仕事
職場の元気見当たらな



投資信託について相談しようとして銀行に行きました。最近、窓口には若い女性ばかり。トタイマーらしき女性しかおられません。若い女性に相談しましたが、なにか安心して相談する気になりませんでした。

投資信託の相談
若い女性で安心できなかった

顧客の声

支店長からみんなの前で、よく頑張ったと怒られます。このままだったら、精神的につぶれてしまつと何度も思いましたが、家族がいるので我慢できるよつこなり、「まだ見捨てられていない」と思つようになっています。
(某支店長代理)

家族がいるから
見捨てられていないと我慢

職場の声